

# 令和3年度事業計画書

## 1 貸付事業の実施

### (1) 畜産高度化推進リース事業

畜産高度化推進リース事業として、畜産経営における家畜排せつ物の適切な処理と利活用の推進、畜産経営の健全な発展、食肉及び生乳の流通の合理化のために必要な施設等を以下のとおり貸し付けるとともに、既貸付に係る基本貸付料等の回収等を行う。

貸付施設等購入額	畜産高度化推進リース事業のうち畜産高度化支援リース事業 2, 800, 000 (2, 800, 000) 千円 うち畜産環境対策リース事業 600, 000 千円 (1, 300, 000 千円) (消費税込み)
----------	---

注1：金額は、新規購入額ベースである。

注2：（ ）内は、前年度予算額である。

なお、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）（畜産クラスターリース）、畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT リース）及び酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪 GO リース）については、貸付施設等の購入に当たり、各々の補助事業に基づき借受者の負担を軽減するとともに、畜産高度化支援リース事業と一体的に実施する。

### (2) 債権管理の的確な実施

貸し付けたリース債権の適正な管理及び処理を行う。

### (3) その他

リース物件によるふん尿の処理・利用等について現地指導・調査等を実施する。

## 2 情報の提供

### (1) 畜産関係機関等への情報の提供として、当機構のホームページに「畜産環境情報」を掲載する。

### (2) インターネットホームページの運営

当機構で開設しているインターネットホームページについて、当機構の業務内容を紹介するとともに畜産環境保全に関する情報を掲載し、適時最新情報に更新する。

### (3) 畜産環境問題に関する研修事業

民間会社等の関係者を対象に畜産環境問題に関する研修会を実施し、関連情報を提供する。

### 3 畜産環境対策技術総合設計基準調査普及事業

家畜排せつ物の処理利用技術は、家畜飼養規模の拡大、飼養方式・技術開発の進展、給与飼料の改善・多様化、家畜能力の向上、新たな排せつ物処理技術の導入等に伴い、大きく変化してきた。このため、これらに対応した適切な畜産環境対策技術に関する総合的な設計基準を調査収集して編纂し、早急に畜産農家及び指導機関等の現場に普及する。

### 4 混合堆肥の利用拡大普及事業

令和元年 10 月の肥料取締法の改正で化学肥料と堆肥を混合した肥料（混合堆肥）が届出のみで生産可能になり、より一層堆肥を使った新肥料の開発利用が見込めるようになった。混合堆肥には地力維持向上と施肥が同時に行える利点があるが、農家の利用拡大・普及を図るため、混合堆肥の肥効率、施肥設計法、施用効果を明らかにし、混合堆肥複合肥料の開発例が少ない牛ふん堆肥の適切な原料品質等を明らかにし試作して情報提供する。

### 5 畜産臭気の不快感軽減技術開発普及事業

畜産現場の悪臭苦情低減については、これまで臭気強度及び臭気濃度を低減する技術を開発し様々な対策を講じている。しかし、畜産経営と一般住民居住場所の近接化が益々進み、不快感を訴える臭気苦情問題が深刻化している。このため、従来臭気強度等に加え、臭いの不快性まで考慮した臭気対策が必要となっていることから、臭気低減資材や浄化槽処理水等を活用して、コスト低減に配慮した臭気の不快感軽減技術を開発し普及する。

### 6 畜産污水浄化施設の AI 支援型リモート管理技術開発・普及事業

養豚の污水浄化施設における水質データを遠隔から収集し、AI 技術により高度な解析を行い、遠隔操作によって污水浄化施設を制御するシステムを構築することで、養豚排水の硝酸性窒素等の濃度を安定的に低下させる技術の開発と普及を行う。

### 7 堆肥舎等長寿命化推進事業

経年劣化が進んでいる家畜排せつ物処理施設（堆肥舎等）の長寿命化等を支援するため、優良な家畜排せつ物処理を実施する農家の実態調査を行い、堆肥舎等の規模から適正に処理できる飼養規模を簡便に算定する新たなシステムを構築する。

### 8 シンポジウムの開催

農林水産省と共催で畜産環境シンポジウムをWEBで開催する。

### 9 受託等事業

(1) 畜産環境技術研究所において、全国の堆肥センター等からの依頼により堆肥の成分分析検査を行う。

(2) 書籍の販売

当機構で編集・発行した畜産環境保全に関する書籍を販売する。

## 収 支 予 算 総 括 書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	3年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	1,100	1,100	0	
(2) 特定資産運用収入	10	10	0	
(3) 事業収入	2,102,118	2,874,852	△ 772,734	
(4) 補助金等収入	666,352	621,342	45,010	
(5) 借入金収入	0	909,090	△ 909,090	
(6) 雑収入	1,832	1,832	0	
(7) 特別債権収入	7,004	7,004	0	
(8) 他会計からの繰入収入	210	300	△ 90	
(9) 資金一体的借入額	454,545	0	454,545	
(10) 資金一体的返済額	454,545	0	454,545	
事業活動収入計	3,687,716	4,415,530	△ 727,814	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出	3,371,891	3,828,668	△ 456,777	
(2) 保険料支出	56,622	36,018	20,604	
(3) 借入金支出	269,306	667,657	△ 398,351	
(4) 管理費支出	27,467	19,298	8,169	
(5) 補助金等返還支出	50,369	603,325	△ 552,956	
(6) 他会計への繰出支出	210	300	△ 90	
(7) 資金一体的返済額	454,545	0	454,545	
(8) 資金一体的貸付額	454,545	0	454,545	
事業活動支出計	4,684,955	5,155,266	△ 470,311	
事業活動収支差額	△ 997,239	△ 739,736	△ 257,503	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出	7,000	7,000	0	
投資活動支出計	7,000	7,000	0	
投資活動収支差額	△ 7,000	△ 7,000	0	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	20,000	20,000	0	
当期収支差額	△ 1,024,239	△ 766,736	△ 257,503	
前期繰越収支差額	3,510,255	4,276,991	△ 766,736	
次期繰越収支差額	2,486,016	3,510,255	△ 1,024,239	

**収支予算書総括表**  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

\* \* \* (単位：千円)

科 目	畜産高度化推進リース事業						畜産経営力向上 緊急支援リース事業	畜産クラスター機械導入 リース事業、畜産経営体 生産性向上対策リース事 業、酪農労働省力化推進 施設等緊急整備対策リー ス事業、肉用牛経営安定 対策補充リース事業及び 畜産経営災害総合対策緊 急支援事業	畜産クラスター機械導入 リース事業、畜産経営体 生産性向上対策リース事 業及び 酪農労働省力化推進施設 等緊急整備対策リース事 業の経営リースとの一 体的実施分	持続的な畜産経営 確立のための環境 対策等リース事業	畜産環境対策技術 総合設計基準調査 普及事業	混合堆肥の利用拡 大普及事業	畜産臭気の不快感 軽減技術開発普及 事業	畜産汚水浄化施設 のAI支援型リ モート管理技術開 発・普及事業	堆肥等長寿命化 推進事業	財産管理 (基本財産管理助定)	受託等事業	合 計
	畜産高度化支援リース事業			畜産経営環境対応 強化緊急対策事業	畜産環境対策 リース支援事業	管理勘定												
	事業勘定	経営・食肉・ 生乳・旧貸付	畜産環境対策リース															
I 事業活動収支の部																		
1 事業活動収入																		
(1)基本財産運用収入																1,100		1,100
(2)特定資産運用収入	10			10														10
(3)事業収入	1,790,492	1,737,462	53,030		8,848		50,497	236,513		5,919							9,849	2,102,118
(4)補助金等収入					492	56,400		0	454,545		30,586	38,690	38,585	35,536	11,518			666,352
(5)借入金収入					0			0										0
(6)雑収入	505	500		5												1,300	27	1,832
(7)特別債権収入	7,004	7,004																7,004
(8)他会計からの繰入収入			119,873							210								210
(9)資金一体的借入額									454,545									454,545
(10)資金一体的返済額	454,545	454,545																454,545
事業活動収入計	2,252,556	2,199,511	172,903	15	9,340	56,400	50,497	236,513	909,090	6,129	30,586	38,690	38,585	35,536	11,518	2,400	9,876	3,687,716
2 事業活動支出																		
(1)事業費支出	2,739,054	2,192,452	546,602		148		23,716	5,009	454,545	30	30,206	38,380	38,254	22,684	8,909	1,080	9,876	3,371,891
(2)保険料支出					222	56,400												56,622
(3)借入金支出					9,565			247,979		11,762								269,306
(4)管理費支出											170	310	331	12,852	2,609	11,195		27,467
(5)補助金等返還支出							50,369											50,369
(6)他会計への繰出支出		119,873									210							210
(7)資金一体的返済額									454,545									454,545
(8)資金一体的貸付額	454,545	454,545																454,545
事業活動支出計	3,193,599	2,766,870	546,602	0	9,935	56,400	74,085	252,988	909,090	11,792	30,586	38,690	38,585	35,536	11,518	12,275	9,876	4,684,955
事業活動収支差額	△ 941,043	△ 567,359	△ 373,699	15	△ 595	0	△ 23,588	△ 16,475	0	△ 5,663	0	0	0	0	0	△ 9,875	0	△ 997,239
II 投資活動収支の部																		
1 投資活動収入																		
特定資産取崩収入																		
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 投資活動支出																		
特定資産取得支出	6,650	6,650														350		7,000
投資活動支出計	6,650	6,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	350	0	7,000
投資活動収支差額	△ 6,650	△ 6,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 350	0	△ 7,000
III 財務活動収支の部																		
1 財務活動収入																		
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 財務活動支出																		
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	19,000	19,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	20,000
当期収支差額	△ 966,693	△ 593,009	△ 373,699	15	△ 595	0	△ 23,588	△ 16,475	0	△ 5,663	0	0	0	0	0	△ 11,225	0	△ 1,024,239
前期繰越収支差額	3,277,520	3,068,139	160,935	48,446	5,128	0	6,031	24,660	0	△ 6,638	0	0	0	0	0	88,502	115,052	3,510,255
次期繰越収支差額	2,310,827	2,475,130	△ 212,764	48,461	4,533	0	△ 17,557	8,185	0	△ 12,301	0	0	0	0	0	77,277	115,052	2,486,016

注1) 「資金一体的貸付額」とは、畜産クラスター機械導入リース事業等3リース事業を円滑に実施するため、同事業会計に貸し付ける額。「資金一体的返済額」とは、同事業会計への貸付額が返済される額。

注2) 「資金一体的借入額」とは、貸付機械購入費に充てるため畜産高度化支援リース事業基金（以下「基金」という。）から借り入れる額。「資金一体的返済額」とは、同借入額を基金に返済する額。

\* 補正予算で変更になったもの